

「NISA の拡充とこれからの資産形成・金融リテラシー教育」

司会 築田優（日本大学）

2024 年、日本政府が打ち出した「資産所得倍増計画」に基づき、個人資産形成支援制度である NISA が大幅に拡大された。この新 NISA は、特定の投資商品から得た利益が一定の範囲内で非課税となる制度であり、これを長期的に利用することで資産形成の効率性を高める手段として注目されている。また、新 NISA は、依然として預貯金に偏っている日本の個人貯蓄資金を資本市場等へシフトさせる役割も担っており、それによって経済成長を後押しすることも期待されている。このように、新 NISA には個人資産形成支援にとどまらない期待が寄せられている。

ただし、新 NISA はリスク資産への投資を前提とした制度であるため、制度の普及と並行して国民の金融リテラシーの向上が求められている。そのため、学校現場での金融教育の重要性も高まっている。また、資産運用や金融商品選択のアドバイスを提供する独立系ファイナンシャル・アドバイザー制度の普及も期待されている。さらに、制度面における利便性の更なる向上、マクロ経済や株式市場の長期的な安定成長を支援する政策も、政府に求められている。

このような問題意識のもと、本セッションでは、新 NISA に関連する各業界から専門家を招き、報告およびパネルディスカッションを行う。セッションの進行は、司会者である築田優がセッションの趣旨およびパネリストの紹介を行った後、まず金融リテラシー教育の観点から家森信善氏、次に新 NISA の制度面から宮本佐知子氏、さらに資産所得向上支援と日本経済の観点から永濱利廣氏、そして証券業界の新たな取り組みについて丹生健吾氏が、それぞれ 15 分前後で報告・問題提起を行う。その後、討論者である西尾圭一郎氏が各パネリストに対して質問を提示し、それを基に全体ディスカッションを行う予定である。

セッション時間が限られているため、討論の時間が短くなる可能性があるが、来場者とパネリストとの質疑応答も予定している。

セッション概要

報告者：家森信善氏（神戸大学）

「環境意識と金融リテラシー—株式投資家や NISA 利用者の特徴を中心に—」

宮本佐知子氏（日本証券経済研究所）

「NISA の現状と今後の課題」

永濱利廣氏（第一生命経済研究所）

「資産所得倍増、中間層の拡大に向けて—日本経済とマクロ環境の未来—」

丹生健吾氏（日本証券業協会）

「NISA の抜本的拡充・恒久化後の制度利活用に向けた証券業界の取り組み」

討論者：西尾圭一郎氏（大阪公立大学）

以上